

■始めてご覧になる方に★プロローグへ第一作から第四作までのダイジェストにつき

■第1作より実に6ヶ年！

地球の未来を予言した驚異のエンドレス・ドラマ  
いまその全貌を明かす完結篇の登場！

ロディ・マクドワール

ナタリー・ランティマー

クロード・エーキング

ル・エアーズ

ホール・ウーリアムス

ジョン・ヒューストン

監督／ジョー・シモン

製作／アーノード・シティコフス

撮影／リチャード・H・クライン

音楽／レナート・ローゼンマン

特撮／ジエラルド・エンドライ

マー・キャップ／ジョン・チエーバース

カラー作品  
バナビジョン

# 最後の 猿の惑星



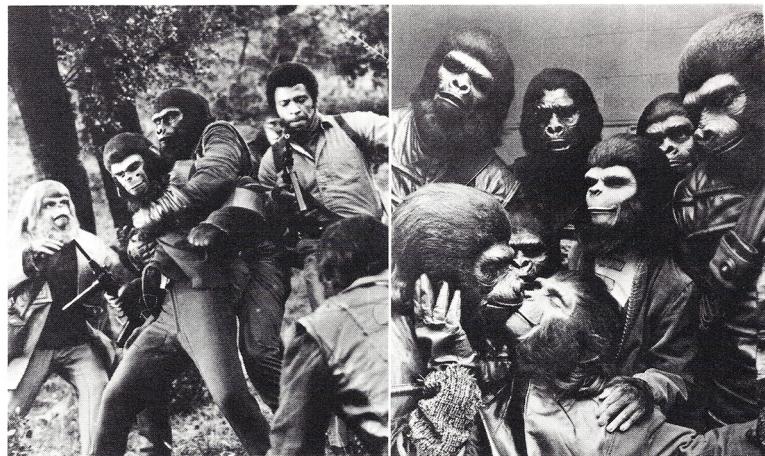
BATTLE FOR THE PLANET OF THE APES

## ■スタッフ■

製作……………アーサー・P・ジェイコブス  
監督……………J・リー・トンプソン  
ストーリー……………ポール・デーン  
脚色……………ジョン・ウィリアムス・コリントン  
"……………ジョイス・フーパー・コリントン  
音楽……………レナード・ローゼンマン  
撮影監督……………リチャード・H・クライン  
美術監督……………デール・ヘネシー  
マイクアップ……………ジョン・チェンバース

## ■キャスト■

シーザー……………ロディー・マクドウオール  
アルドー……………クロード・エーキンズ  
リーサ……………ナタリー・トランディー  
コルブ……………セバーン・ダーデン  
マンデマス……………ルー・エアーズ  
バージル……………ポール・ウィリアムス  
マクドナルド……………オースチン・ストーカー  
アルマ……………フランス・ニュイエン  
立法者役として特別出演……………ジョン・ヒューストン



### ●シリーズ完結!

一九六八年に、第一作『猿の惑星』で登場したこのシリーズが、ついに五作目を数え、ここに完結する。近年最高に面白いSF映画であるだけでなく、"007"と共に最もヒットしたシリーズ物の、これは戦慄と恐怖の大クライマックスなのだ。

### ●これはスタートもある

このクライマックスは、しかし普通のしめくくりではまるでない。なぜなら、この第五作の続き、つまり六作目はもうないのではなく、あるからである。この六作目が、実はシリーズの出発した第一作なのであり、だから七作目は第二作。という具合に、これは永遠にまわり続けるのである。このシリーズは、映画史上かつてないユニークなものなのである。そして、このシリーズが本当にこわいのは、ここにある。

### ●人類滅亡!

おぼえているだろうか。第一作『猿の惑星』で、地球から到着した主人公チャールトン・ヘストンが、実はそれが未来の地球であるとも知らずさまよつた奇怪な世界を……この第五作は、あの奇怪な世界にすべてが帰つて行くのである。地球はここで、人間対猿の原水爆戦争の結果、ついに一瞬にしてほとんど壊滅してしまつたのである。

### ●いかに第一作につなげるのか?

だから、この第五作の、なんといつても興味深いのは、物語をいかにして第一作につなげてゆくかという事だ。オリジナル・ストーリーは、第一、二、三、四作のシナリオを書いたポール・デーン。一九五一年に『戦慄の七日間』というサスペンス未采映画で、アカデミー・オリジナル・ストーリー賞をとっている人。最近では何といつても"007／ゴールドフィンガー"、"寒い国から帰つたスパイ"のシナリオで有名である。脚色は、これもSF物『オメガマン』を書いているジョン・ウィリアムスと、ジョイス・フーパーのコリントン夫妻。そして監督は第四作と同じJ・リー・トンプソン。いうまでもなく、最高に面白い映画『ナバロンの要塞』を作つた男である。第五作を第一作につなげるという、SF的離れた技のスタッフとしては、まず最適のメンバーなのだ。

●エイブ・シティー  
この『猿の惑星』シリーズの最大の呼び物といえば、ア

### ●シリーズ完結!

一九六八年に、第一作『猿の惑星』で登場したこのシリーズが、ついに五作目を数え、ここに完結する。近年最高に面白いSF映画であるだけではなく、"007"と共に最もヒットしたシリーズ物の、これは戦慄と恐怖の大クライマックスなのだ。

### ●これはスタートもある

このクライマックスは、しかし普通のしめくくりではまるでない。なぜなら、この第五作の続き、つまり六作目はもうないのではなく、あるからである。この六作目が、実はシリーズの出発した第一作なのであり、だから七作目は第二作。という具合に、これは永遠にまわり続けるのである。このシリーズは、映画史上かつてないユニークなものなのである。そして、このシリーズが本当にこわいのは、ここにある。

### ●人類滅亡!

おぼえているだろうか。第一作『猿の惑星』で、地球から到着した主人公チャールトン・ヘストンが、実はそれが未来の地球であるとも知らずさまよつた奇怪な世界を……この第五作は、あの奇怪な世界にすべてが帰つて行くのである。地球はここで、人間対猿の原水爆戦争の結果、ついに一瞬にしてほとんど壊滅してしまつたのである。

### ●いかに第一作につなげるのか?

だから、この第五作の、なんといつても興味深いのは、物語をいかにして第一作につなげてゆくかという事だ。オリジナル・ストーリーは、第一、二、三、四作のシナリオを書いたポール・デーン。一九五一年に『戦慄の七日間』というサスペンス未采映画で、アカデミー・オリジナル・ストーリー賞をとっている人。最近では何といつても"007／ゴールドフィンガー"、"寒い国から帰つたスパイ"のシナリオで有名である。脚色は、これもSF物『オメガマン』を書いているジョン・ウィリアムスと、ジョイス・フーパーのコリントン夫妻。そして監督は第四作と同じJ・リー・トンプソン。いうまでもなく、最高に面白い映画『ナバロンの要塞』を作つた男である。第五作を第一作につなげるという、SF的離れた技のスタッフとしては、まず最適のメンバーなのだ。

●エイブ・シティー  
この『猿の惑星』シリーズの最大の呼び物といえば、ア

### ●ニューヨーク地下都市

町"エイブ・シティー"でのドラマである。

### ●第二作『続・猿の惑星』

では、原水爆で破壊されたニューヨークの廃墟の地下で、猿人間の攻撃におびえながらひそかに暮している人間たちの子孫が登場した。知能は発達しテレパシーをあやつしながらも、放射能におかされ見るも痛ましい奇形の彼らの生存の謎。これも又、この第五作ではじめて解明される。第四作にも登場した警察署長コルブをリーダーとするケロイド人間(ミュータント)たちの、悲惨な地下のドラマである。

### ●猿を演技する

キャストは、例によつて演技派で、がつちりかためられている。第四作で人間たちに反乱を開始した主人公シーザーには、ひき続いてロディー・マクドウオール。その妻リーサに、これも第四作で同じ役を演じたナタリー・トランディー。ゴリラ族のリーダーに、"リオ・"ラボ"の敵役"で名を売つたクロード・エーキンズ。オランウータンには映画監督として第一級でもあるジョン・ヒューストン、そして"愛のプレリュード"『オールド・ファッショーン・ラブ・ソング』のコン・ポーザー、シンガー・ソングライターとして人気抜群のポール・ウィリアムスの映画出演。『西部戦線異常なし』のルー・エアーズ、久しぶりの出演も興味深い。他にフランス・ニュイエン、セバーン・ダーデン、オースチン・ストーカー等が登場する。

### ●残酷と恐怖のエンドレス・ドラマ!

『猿の惑星』シリーズは、SFのあらゆるテーマの大集合体でもある。宇宙テーマ(第四作)、ミュータント・テーマ(全作)、未来社会テーマ(第四作)、ミュータント・テーマ(全作)、破滅テーマ(第二作)、ロスト・ワールド・テーマ(第一作)といった具合に、SFのあらゆる面白さがふんだんにちりばめられたシリーズなのだ。こんどの第五作は、当然その総決算。永遠にぐるぐるまわり続ける、怪奇と独創的な恐怖ドラマが、ここにはじまり、ここに終るのだ!

7月21日(金)からロードショー 特別鑑賞券発売中

丸の内東宝

(211)6088